

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）事後評価書

2021/3/

計画の名称	学研奈良登美ヶ丘駅周辺地域における良好な住宅地の形成																							
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）			交付対象	奈良市、生駒市																			
計画の目標	<p>近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」周辺は、奈良県の「住宅及び住宅地の供給に関する計画」の中で「重点供給地域」に指定されています。奈良市では「奈良市第3次総合計画」及び「奈良市都市計画マスタープラン」においても、商業、業務、住宅及び文化機能を備えた個性豊かで魅力ある市街地の形成、関西文化学術研究都市と連携した地域の都市拠点または生活拠点として総合的整備を図る地区とされています。また、生駒市では「第5次生駒市総合計画」においても、本市が南北に長い都市構造であることを考慮し、近鉄けいはんな線各駅周辺地域は、鉄道利用利便性を活かしつつ、住民の利便性を高めるため、北地区の商業サービス機能を集積させ、生活サービス・交流・居住等機能の充実を図るなど、地域拠点として位置付けています。</p> <p>このような位置付けのもと、周辺地域から駅へのアクセス道路となる幹線道路を整備することにより、民間開発事業者による良質な住宅の供給を促進させ、併せて本地区の良好な市街地形成を図るものです。</p>																							
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>住環境が整備された良好な住宅地を供給する</li> </ul>																							
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">定量的指標の定義及び算定式</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H22当初)</th> <th>(H24末)</th> <th>(H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・土地区画整理事業により住環境が整備された住宅地の供給戸数を計測する（奈良市、生駒市分）</td> <td>0戸</td> <td>-</td> <td>1,139戸</td> <td>※中間目標は任意</td> </tr> </tbody> </table>								定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H22当初)	(H24末)	(H26末)	・土地区画整理事業により住環境が整備された住宅地の供給戸数を計測する（奈良市、生駒市分）	0戸	-	1,139戸	※中間目標は任意
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考																				
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																					
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)																					
・土地区画整理事業により住環境が整備された住宅地の供給戸数を計測する（奈良市、生駒市分）	0戸	-	1,139戸	※中間目標は任意																				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,471百万円	A	1,469百万円	B	一百万円	C	2百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.14%														

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
定量的指標の実績値を測定のもと、市において事業効果の発現状況を考察する。	令和3年3月
	公表の方法
	奈良市ホームページにて公表、生駒市ホームページにて公表

交付対象事業

A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
								H22	H23	H24	H25	H26				
1-A1-1	住基盤	一般	奈良市 生駒市	直接	市	登美ヶ丘11次住宅地住宅市街地基盤整備事業	道路改良(高架橋、土工、擁壁) L=847m W=18m						1,469			
合計												1,469				
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計												0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	施設整備	一般	奈良市	直接	市	-	案内板等設置事業	災害情報伝達施設整備 N=2ヶ所	奈良市						2	
										合計					2	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1	災害情報伝達施設の整備により、地震や大火などの際に地域住民が安全に避難できる場所を伝達し、安全な住宅市街地を形成することで、住環境の整備された住宅の供給を促進する。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

・土地区画整理事業により住環境が整備、さらに市街化区域への編入により住宅区域が拡大された結果、住宅地の供給戸数（奈良市、生駒市分）が目標値を上回った。

II 定量的指標の達成状況

指標①（住宅地の供給戸数）

最終目標値

1,139戸

目標値と実績値  
に差が出た要因

市街化区域への編入などにより住宅区域が拡大した。

最終実績値

1,388戸

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
（必要に応じて記述）

・奈良市と生駒市を縦断する中登美ヶ丘鹿畑線・鹿畑駅前線が新たな交通・物流ルートとして整備され、市街地の骨格を形成し、周辺の土地利用を推進した。

3. 特記事項（今後の方針等）

別添

社会資本総合整備計画 事後評価

計画の名称	学研奈良登美ヶ丘周辺地域における良好な住宅地の形成	計画の名称	奈良市、生駒市
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		

